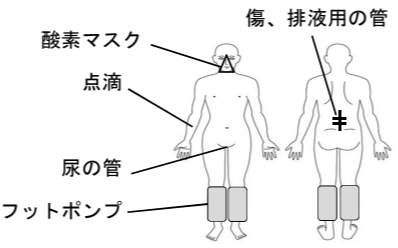





主治医氏名		印	
主治医以外の 担当者氏名	担当医師		
	看護師長		担当看護師
	管理栄養士		リハビリテーション部
病名			
症状	腰痛・下肢痛・しびれ・その他 ()		
手術	あり		
特別な栄養管理の必要性	(あり ・ なし)		
入院治療の目標 (達成目標)	歩行が安定し、セルフケアできる 退院後の生活の注意点が理解できる		

【患者または代理者同意署名】

年 月 日 氏名

*代理署名の場合 患者との続柄 ()

推定入院期間	入院日～手術前日 (/)	入院2日目 手術当日 (/)	入院3～4日目 手術後1～2日目 (/ ~ /)	入院5～6日目 手術後3～4日目 (/ ~ /)	入院7～13日目 手術後5日目～11日目 (/ ~ /)	入院14～19日目(退院) 手術後12日目～17日目 (/ ~ /)	
注射・内服	・入院中に薬剤師による注射薬、内服薬についての説明があります。 ・飲み薬、目薬、軟膏、点鼻薬など、入院前から服用している薬がある場合、お薬手帳と合わせて確認します。	・点滴や注射をすることがあります。 ・医師の指示により指定した時間に看護師がお渡しする薬だけ内服します。	・点滴は続きます。抗生剤の点滴をします。 ・また、手術室より痛み止めの点滴が始まります。使用方法は看護師が説明します。 ・特にありません。	・傷の痛みが軽減すると、医師の指示により痛み止めの点滴は終了します。 ・抗生剤の点滴は続きます。 ・医師の指示により飲み薬を再開します。痛みに合わせて痛み止めの薬がありますので、我慢せずに看護師に声をかけてください。	・点滴は終了予定です。採血の結果など状況によって点滴を継続する場合があります。	・特にありません。	・特にありません。 ・必要に応じて薬剤師が退院後の薬剤指導を行います。退院時に必要な薬があれば医師、看護師に相談してください。
検査	・必要時、採血やレントゲン、CTの検査をします。	・特にありません。	・手術室で採血する場合があります。	・手術後1日目に採血します。	・手術後4日目に採血します。	・手術後1週間目に採血、腰部のレントゲンを撮ります。	・手術後2週間目に採血、腰部のレントゲンを撮ります。
処置	・特にありません。	・血栓予防のために弾性ストッキングを履きます。	・フットポンプをつけて帰室します。 ・背中に排液用の管が入ってきます。	・トイレに行けるようになったらフットポンプを外します。 ・歩行が安定するまで弾性ストッキングを履きます。 1日1回弾性ストッキングの履き替えをします。	・出血量が少なくなってきたら排液用の管を抜きます。 (個人によって抜く日は異なります。)	・傷の確認をします。	
教育・説明・指導	・看護師が病棟の設備や手術前後の流れについて説明を行います。 ・入院中は顔や爪の色を確認しますので、髭を剃り、マニキュアや化粧を落としてください。 ・手術前日に麻酔科の受診があります。 【手術必要物品】 T字帯：1枚 ※売店で購入できます。 ・手術後に使用するコルセットは、装具技師に依頼し作成します。	・手術について不明点がないか確認します。わからないことがあったら看護師に相談してください。 ・入室時間は分かり次第説明します。 ・手術前にT字帯もしくはオムツに履きかえ、手術着に着替えます。 ・髪の毛の長い方は、金属が付いていないゴムで左右どちらかにまとめてください。 ・入れ歯、眼鏡、補聴器、指輪、時計、ネックレス、ピアス、コンタクトレンズ、かつら、ヘアピンなどは必ず外してください。 ・ご家族は医師や看護師と相談した場所で待機してください。	・医師よりご家族に手術後の説明があります。 ・手術後は体温や血圧、脈拍、傷の様子、足の動きなどを観察します。 ・手術後の状態は下図を参照してください。 	・退院まで、体温、脈拍、血圧、傷の観察、足の動きなどの確認を行います。 ・体を起こしたり、移動するときは、医師の指示のもとコルセットを装着します。自分のコルセットが完成するまでは病棟の物を貸し出します。 ・腰に負担をかけないように、重たいものを1人で持ったり腰をねじったり、反ったり、曲げたりしないようにしましょう。 	・退院に向けた日常生活での注意点、傷の観察の方法、症状変化時の対応について説明します。 ・装具技師がコルセットの採寸(火曜または木曜)を行います。コルセットは医師の指示があるまで装着します。	・必要時医師からの病状説明の場を設けます。 ・退院日を確認します。 ・退院日に再診表や退院処方薬をお渡しします。 ・不明点があるときには担当医師や看護師にお尋ねください。 ・退院の日は午前10時までに退院となります。お会計は退院日に支払うか、誓約書で後日お支払になります。	
安静度	・特に制限はありません。 ・転倒しないように靴を着用してください。 ・病棟を離れる際には看護師に伝えてください。	・手術室までは、 □歩行 □車椅子 □ストレッチャー または ベッドで移動します。	・ベッド上で安静になります。 ・寝返りすることはできません。看護師が手伝いますので声をかけてください。	・医師の許可が出るとコルセットを装着して、車いすへ乗ることができます。 ※手術後の様子で、安静期間が手術後5日程度、延びる場合があります。安静が延びても予定は変わりません。	・医師の許可が出ると歩行できます。最初の歩行は看護師が付き添います。	・歩行の様子やリハビリテーションの状況によって、行動範囲も拡大します。	
食事	・麻酔科の指示により、食事と飲水がとれる時間が決まります。指示をお守りください。	・麻酔科の指示により水分制限があります。 ・朝から食事はありません。	・おなか動き始めたら、お水を飲むことができます。看護師がお手伝いします。	・医師の指示のもと朝から食事が再開予定です。 ・食事中もコルセットを装着します。			
排泄	・歩けない方は車いすですとトイレに行けるようにお手伝いします。	・手術予定30分前までにトイレに行きます。	・尿管が入ってきます。 ・排便の際はベッド上で行いますので、お手伝いします。	・医師の許可があり、トイレに行けるようになれば尿管を抜きます。 ・トイレに行くときには車いすでお手伝いをします。	・リハビリテーションの状況に合わせて、トイレまで車いす、または歩いて行きます。		
清潔	・シャワーまたは体を拭きます。	・特にありません。	・医師の許可があるまでシャワー浴ができません。	・体拭きを行い、手術着から病衣に着替えます。 	・医師の許可が出ると、シャワー浴が可能になりますので、傷の洗い方を説明します。必要時、看護師がお手伝いします。		
リハビリテーション	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。 	・リハビリテーションを開始します。 ・週末は病棟でできるリハビリテーションを行います。	・歩行器やT字杖など補助具を使用した歩行練習、筋力強化訓練を行います。 ・個人によってメニューは変わります。	・退院に向けて床からの立ち上がりなど日常生活の動作の訓練を行います。退院後も自分でできるリハビリテーションを覚えましょう。
その他	・煙草は痰が多くなる原因になるので早めに禁煙し入院に備えてください。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。
*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。
*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。